

河川再生の情報共有と協働の交流基盤構築に関する研究

－日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)の2023年度活動報告－

A report on the development of exchange platform for information sharing and collaboration toward river restoration: Activities of the Japan River Restoration Network in 2023

水循環・まちづくり・防災グループ 主任研究員 和田 彰
 審議役 土屋 信行
 水循環・まちづくり・防災グループ 研究員 阿部 充
 水循環・まちづくり・防災グループ 研究員 北澤 史
 自然環境グループ 主任研究員 白尾 豪宏
 自然環境グループ 研究員 森本 洋一

1. はじめに

2006年に「日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)」が設立され、当研究所は設立当初より事務局を務めている。またこのJRRNは、「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」の日本の窓口として、韓国、中国、台湾など海外機関との連携を通じ、日本の優れた知見を海外に向けて発信するとともに、海外の最新の事例情報等を日本国内に還元する役割を担っている。

本稿では、2023年度に当研究所がJRRN事務局の運営を通じて実施した川づくりに関わる情報共有・発信の充実、担い手育成に向けた普及啓発及び国際連携の取組みについて報告する。

2. 2023年度のJRRN活動内容

2-1 川づくりに関わる情報共有・発信の充実

国内外の川づくりに関するニュース、行事、新刊書、施策等の最新情報を、ウェブサイト、facebook、Instagram等のSNS及び隔月発行JRRNニュースレターなどの情報媒体を通じて広く社会に発信した。

また、国内外関係機関からの各種提供情報の共有や、毎年春に実施する「桜のある水辺風景」の応募作品の紹介などを通じて、川づくりの魅力や関連情報と担い手を繋げる情報共有基盤の充実に取り組んだ。

※JRRN ウェブサイト：

<http://www.a-rr.net/jp/>

※JRRN facebook：

<https://www.facebook.com/JapanRRN>

※JRRN Instagram：

<https://www.instagram.com/jrrn01/>

2-2 川づくりの担い手の育成に向けた普及啓発や協働 ～小さな自然再生の普及促進～

2014年より水辺の小さな自然再生の全国普及に取り組んでおり、2023年度は以下に示す全5回の「小さな自然再生」現地研修会を開催した。

(1) 第18回現地研修会 in 岡山県・日笠川

「100年後も生きものいっぱい！日笠川」をテーマに、親子で取り組む小さな自然再生の技の習得のため、座学・現地実践・ワークショップを開催した。



(2) 第19回現地研修会 in 滋賀県・米川

「ウォーカブルな米川の未来像」をテーマに、米川と長浜市中心部のまちなかを歩きながら、かわとまちをつないで地域を盛り上げるアイデアを交換した。



(3) 第20回現地研修会 in 新潟県・北の又川

「バープで宮ノ淵を復活させよう」をテーマに、イワナの生態や瀬淵構造を学ぶ座学を開催し、講師及び参加者とともに、川の営力でイワナの淵を復活するためのバープ工づくりに取り組んだ。



(4) 第21回現地研修会 in 兵庫県・出石川

「できることからはじめよう！魚がすみやすい川づくり」をテーマに、大切な資源である出石川を地域活性化にどのように活かしていくかのアイデアを、座学・現地実践・意見交換会により学び合った。



(5) 第22回現地研修会 in 滋賀県・愛知川流域

「民間企業が担う小さな自然再生を考える」をテーマに、企業が地域のハブとなり、農業排水路をエコアップし、さらに環境教育の場としていくノウハウの習得を目的に、座学とフィールド踏査を実施した。



写真－1 2023年度に開催した現地研修会の様子

2-3 川づくりの国際的な技術交流

(1) 韓国河川協会との河川管理に関わる技術交流

2023年10月23日(月)から25日(水)の3日間、韓国河川協会の視察団(自治体職員14名及び河川協会職員3名の計17名)が近畿、北陸の河川管理者との技術交流を目的に来日した。韓国河川協会はアジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の韓国窓口KRRNの事務局組織でもあり、視察先の事前調整や現地案内等をJRRNが担った。

(2) ARRN主催「第19回水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム」及び「第17回ARRN運営会議」

ARRN主催「第19回ARRN水辺・流域再生にかかわる国際フォーラム」を2023年11月21日(火)に、また22日(水)にはARRN理事会に相当する「第17回ARRN運営会議」を中国湖北省・十堰市にて開催し、日中韓の川づくりの最新知見の共有を目的とした技術交流と更なる連携に向けた審議を行った。新型コロナウイルス感染拡大によりオンライン開催が続いていたが、2019年以来4年ぶりの対面での開催となった。



写真－2 韓国河川協会交流(上)、ARRN行事(下)

3. おわりに

JRRNの諸活動は国内外連携機関との協働で成り立ち、また小さな自然再生の普及促進活動は、(公財)河川財団の河川基金の助成を受け、「小さな自然再生」研究会や自治体等との協働で実施した。当活動にご支援・ご協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。